

# 平成30年度 保育園 事業報告

(るり・乳児・るり(2)乳児・みろく(2)夜間)

## 1. 総括

多様な保育メニューの充実と地域の子育て支援拠点となる保育園になることを目標に地域住民の子育てに関する相談窓口機能を設ける事を計画したがこの1年では具体的な展開はできなかった。年間を通じて人材の確保、定着が大きな課題であるが退職者は少なかったが新規採用者も少なかった。非常勤保育士、派遣保育士を補充するも働ける時間帯が重なったり短時間労働者である為、早朝、夜間など出勤できる保育士が少ないことから常勤保育士への負担が増している。就職フェアへの出展(年6回)や養成校の就職説明会(3校)等積極的に参加したが即効果は出なかった。粘り強く出し続ける一方で求人のおし方や保育士以外の有資格者(幼稚園教諭・小学校教諭・養護教諭・子育て支援員)の採用を視野に計画を立てる必要がある。るり保育園は天井からの水漏れにより舞台ホールが使用できなく各行事に影響した。過去にも修繕工事を行ったが再発したので今年度予定していた大阪市の補助金による空調機改修工事は辞退し、31年度内にデイサービスセンターとともに大規模改修工事を予定する。また、一時保育のニーズにしっかりと答えていく為、在園児と分けて保育する環境づくりを考える。乳児保育園の建て替え工事について施設長、統括主任が委員会に出席し、現場保育士達の意見を新園舎完成に反映できた。長期間にわたり仮設生活であったが令和元年5月1日オープンし、保護者にも大変喜ばれている。駅前の四恩みろく2夜間保育園については利用者減の為、来年度いっばいで閉園の方向で新規募集を中止した。今後の駅前保育園の在り様を考える。

## 2. 利用者の視点「サービスの質の向上」

### A) サービスの質の向上

- ・新園舎(乳保)開設に伴い現場職員の意見を聴取し建物に反映した。
- ・はなまる連絡帳の発信を保護者会の依頼で園発信にした。

### B) 新規メニュー、新たな取り組みの実施

- ・子育て支援の充実→関係機関、地域自治会掲示板等に掲示。  
各園の応援、子育て支援事業に講師として保育士派遣

## 3. 地域への貢献「地域の福祉課題への取り組み・コミュニティ形成」

### A) 地域との協働・連携・貢献への取り組み

- ・乳幼児クラブの充実 児童館と連携しながらクラブのメニューを検討する  
→遊び中心のクラブと勉強会中心のメニューを定期的に行った。

(その他) 地域活動協議会主催の各種行事(防災訓練、地域パトロール等含む)に職員派遣

### B) 地域子育て支援拠点事業

- ・区社協と協働し苅田北、苅田地域の子育てサロンに職員派遣
- ・自由来館の場所としてあびんCOハウスを利用した。

## 4. 組織プロセス(実施体制・労働環境等)の再構築

### A) 働きやすい職場環境の整備

- ・十分な休憩時間の確保→充分ではないが、職員が休憩をとる意識付けはできてそれぞれのクラスが声を掛け合い工夫して取った。
- ・コミュニケーション作りなんでも話せる雰囲気づくり→建て替えに伴う環境づくり。

### B) 事業所のプロモーション強化

- ・将来実行できるように準備する。SNS, インターネットを通じて情報収集  
→具体的に展開できていない。

## 5. 人材育成・定着・確保

- A) 職員間の連携・コミュニケーションの向上  
建て替え、引っ越し等を踏まえ職員間の連携。新たな組織体制づくりに移行。
- B) 職員個々のキャリアアップ
  - ・自主的にキャリアアップ研修等に参加できるよう、意識的な声掛けをする  
→研修案内を供覧し、参加したいものを募る。保育実践に直接つながる研修は行事等で実践を試みる。処遇改善に係るキャリアアップ研修については制度がまだ固まっていないが園としての方針、受講の方法等決めていく必要がある。

## 6. 財務基盤の安定

- ・夜間保育園利用者減により（保護者の働き方や労働条件整備によるものか）2019年度末をもって閉園の方向で園児募集を中止した。一方で併設のるり2乳児保育園の増員と物件賃借料等の収支バランスの検討が必須である。
- ・るり保育園は両乳児保育園からの入園を確実に受けるため定員増。将来的には3歳から5歳の幼児保育を中心とした園へ移行する。
- ・乳児保育園は新園舎に慣れ、徐々に利用者を増やしていく。（定員60名→71名）

## 7. その他

大阪市留守家庭児童対策事業（子どもの家事業）については利用者減（いきいき教室利用の傾向）苅北地域コミュニティ会館を利用していたが建て替え工事終了後、夏休みを機に児童館へ戻る。あびんこモーニングの在り様も検討。

## 8. 大阪市指導監査指摘事項 監査日 平成31年1月15日

### 1. 四恩乳児保育園について

保育士の職員数が配置基準を下回っているため、配置基準を満たすよう配置すること（1名）

→配置基準の算定に誤りがありましたので今年度より非常勤保育士等を採用し改善を行った。（11月まで遡り、るり保育園所属の非常勤保育士を乳児保育園配属にした）

### 2. 四恩みろく2夜間保育園について

開園時間中（平日の朝）の保育士の職員数が配置基準を下回っている為、配置基準を満たすよう配置すること。

→四恩みろく2夜間保育園は入所児童減少の為、職員配置についても増員できないので止む無く、併設の四恩るり2乳児保育園で対応している。

（大阪市には説明済み）

\*前回理事会で報告いたしましたとおり平成25年度26年度について補助金一部返還をしなければならない。職員配置等について施設長が理解し、考えなければならないが具体的対策が執られてなかった。補助金の意味を考え、適切な対応が必要である。